

研究成果展開事業 大学発新産業創出プログラム
プロジェクト推進型 SBIR フェーズ1 支援
2021 年度事後評価結果

グラント番号	JPMJST2160
研究開発課題名	養殖場における自動給餌機のための自動補給船ーロボット漁船ーの研究開発
研究代表者	大阪公立大学 大学院工学研究科 准教授 二瓶 泰範

総合評価

養殖事業の無人化は合理化だけでなく作業安全面からも待望される技術であり、社会的ニーズは高い。重要な取り組みであり十分な社会受容性がある分野である。実装へ向けて要素技術を確立し、提供するサービスを満たす PoC の実現を目指して技術開発を進めてほしい。

以上